



# 学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成29年5月31日発行 No.9

文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



## さわやか「あいさつ」の秘密 ～あいさつ上手～

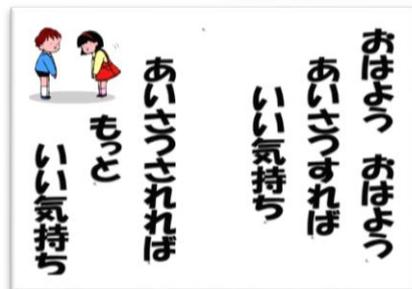
朝のマラソンが終わり、教室に戻るときのことでした。

「あっ、給食の時、教室に来た人だ!!」(1年生)

「あの人は、給食を作ってくれてる人で、『羽曾部先生』と言うんだよ。」(校長)

すると、1年生4人は、先回りをして、こうあいさつしました。

「羽曾部先生、おはようございます。」



このようにあいさつされた羽曾部先生は、「すごい！パワーをいただきました。」と感動していました。私は、子ども達のあいさつから、3つのあいさつ上手を発見しました。

- ① 名前を付けてあいさつしている。(ex「とらき校長先生、おはようございます。」)
- ② おじきをしてあいさつしている。(1年生のHさんは、いつもお辞儀をしています。)
- ③ 遠くからでも、自分からあいさつしている。(登校班長のMくん、Aさんは、遠くからあいさつしてくれます。)

全校朝の会でこんな話をしたところ、お辞儀をする子や遠くからあいさつする子が増えました。よいと思うこと、教えられたことを実践する素直な子ども達です。

## 5年生が田植えをしました ～自然から学ぶ農業科～

農業支援員の佐藤弘之さん、安部良一さん、鈴木忠好さんのご指導をいただき、東寺屋敷にある田んぼ(今年も高松文也さんにお借りしています)で、5年生が田植えをしました。

はじめに、支援員さんに、市教委から委嘱状が渡され、その後、佐藤支援員さんから田植えの仕方を教わりました。子ども達は、教えられたとおりに真剣に苗を植えていました。

農業科の目的は、豊かな心、主体性、社会性を育むことです。自然と直接ふれあう体験を通し、自然の美しさや神秘、不思議、そして塩川町のよさ(人、自然、土地)を心で感じ取ってほしいと思います。



左から、支援員の鈴木さん、安部さん、佐藤さんです。TさんとUくんは、自主的に植え直しをしていました。立派です。

## ちょっといい話、「朝のマラソン」から

子ども達は、8時になると「朝のマラソン」に取り組んでいます。

8時前から黙々と走る姿がありました。声をかけると、「秋にマラソン大会があるから、5周を目標にしています。」と、きっぱりと答えました。

目標を持って取り組む5年Sさんにとっても感心しました。

「下学年の人が、トラックの内側を走ってないので、放送で呼びかけた方がいいです。」(5年Mくん)と言い、放送室に走って行きました。

「けが防止のため、「下学年はトラックの内側を走る」よう、体育主任の武田先生から言われたこと思い出したMくんは、こんな行動をとったのです。その後、放送があり、下学年の子は内側を走るようにになりました。」

(^^) 6年生は、明日から仙台・松島方面に修学旅行をします。その様子も、「喜多方市教育ポータル」でお知らせします。スマホからも見ることができます。アドレスは、<http://www.kitakata.gr.fks.ed.jp/> です。